

# 市民アンケート調査結果報告書

平成20年9月

足 利 市



1	調査の概要	1
	調査の目的	1
	調査の方法	1
	調査項目	1
	回収状況	1
	留意点	1
2	調査結果	2
	(1) 基本属性	2
	性別	2
	年齢	2
	職業	3
	通勤・通学先	3
	居住年数	4
	家族構成	4
	住宅	5
	居住地区	5
	(2) 足利市総合計画での取り組み	6
	満足度	6
	2 満足度（加重平均値）	7
	3 " "（経年変化）	8
	重要度	9
	2 重要度（加重平均値）	10
	3 " "（経年変化）	11
	満足度上位5位	12
	重要度上位5位	13
	満足度と重要度の関連	14
	自由記載意見等	15
	(3) 市民の生活実践	17
	ボランティア活動等への参加	17
	健康づくりのための実践	18
	(4) 情報について	19
	「あしかがみ」の閲読	19
	足利市ホームページの閲覧	20
	市政情報の入手手段	21
	「市議会だより」の閲読	22
3	アンケート調査票	

# 1 調査の概要

## 調査の目的

足利市では、第6次総合計画に基づいたまちづくりを進めていますが、市民が日常生活を通して感じる市の取り組みに対する満足度、重要度等をお聴きし、総合計画の進行管理に役立てようとするものです。

## 調査の方法

- 1) 対象者 住民登録する満20歳以上80歳未満の市民1,500名
- 2) 抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出（H20.4.1現在）
- 3) 調査方法 郵送調査（はがきによる督促1回）
- 4) 調査期間 平成20年5月9日～31日

## 調査項目

- 1) 基本属性
- 2) 足利市総合計画での取り組み
- 3) 市民の生活実践
- 4) 情報について
- 5) 自由意見

## 回収状況

- 1) 配付数 1,500
- 2) 有効回収数 832
- 3) 有効回収率 55.5%

## 性別

	男	女	不明
配付数	751	749	
有効回収数	372	438	22
有効回収率	49.5%	58.5%	

## 年代別

	20代	30代	40代	50代	60代	70以上	不明
配付数	181	266	234	326	295	198	
有効回収数	69	111	119	151	212	148	22
有効回収率	38.1%	41.7%	50.9%	46.3%	71.9%	74.8%	

## 地区別

	旧市内	毛野・富田	三重・山前・三和・葉鹿・小俣	北郷・名草	山辺・矢場川・御厨・久野・梁田・筑波
配付数	236	211	429	164	460
有効回収数	162	92	216	98	241
有効回収率	68.6%	43.6%	50.3%	59.8%	52.4%

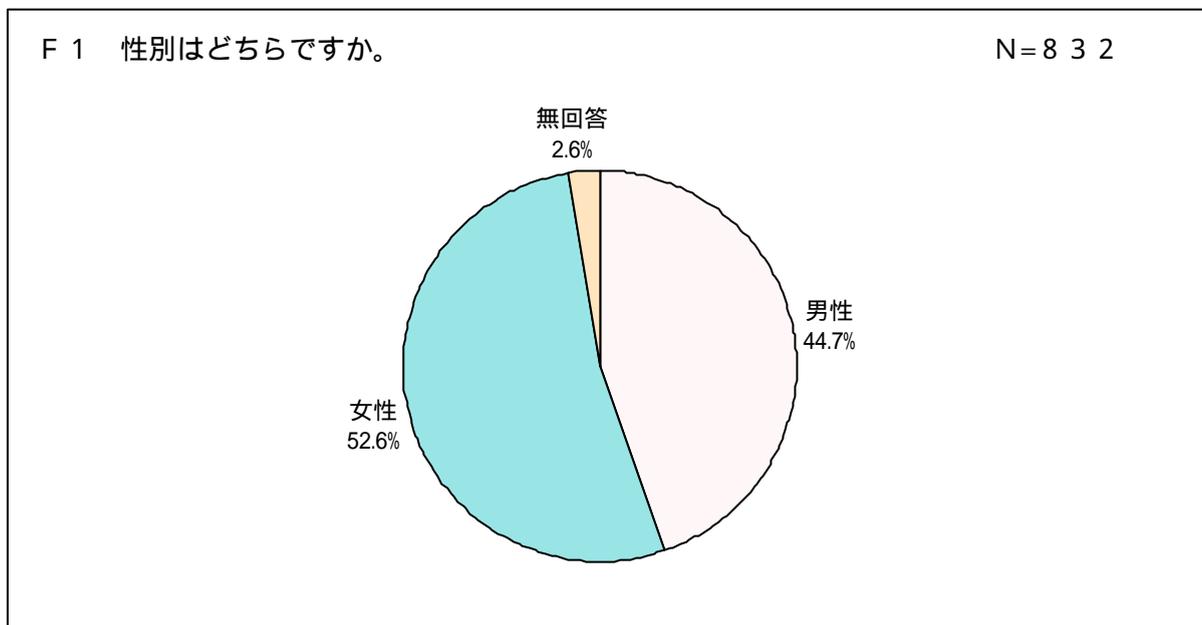
## 留意点

- 1) 割合は、小数点以下第2位を四捨五入のため、合計が100%とならない場合がある。
- 2) 2つ以上選択する設問では、割合の合計が100%を超える場合がある。

## 2 調査結果

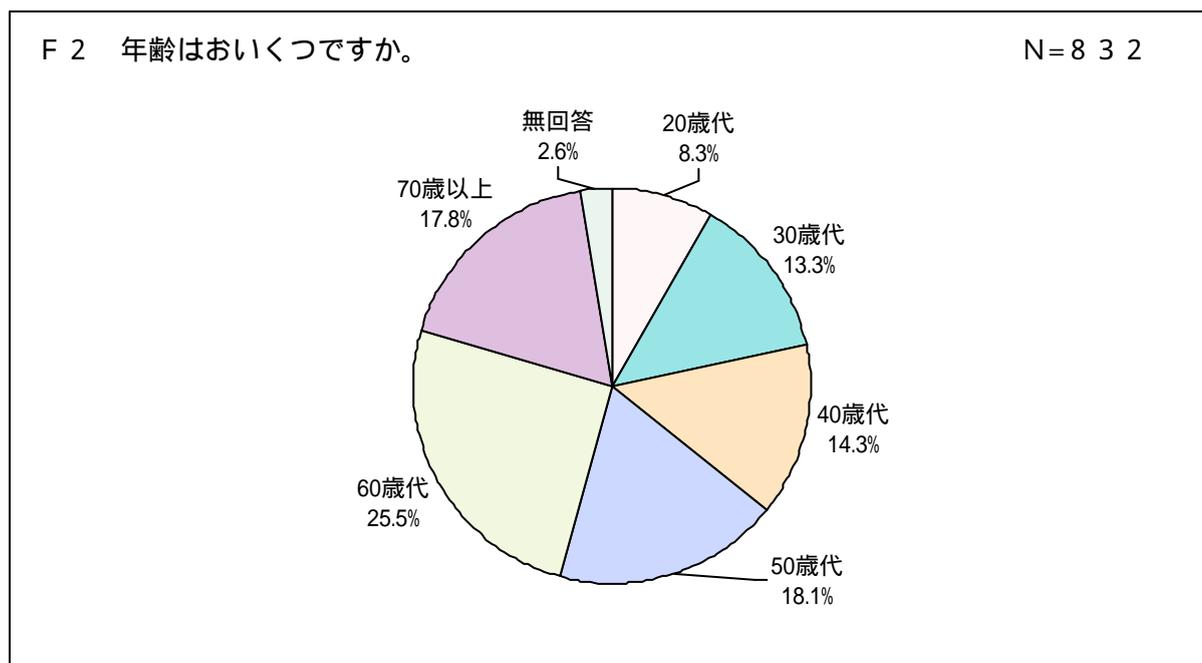
### (1) 基本属性

#### 性別



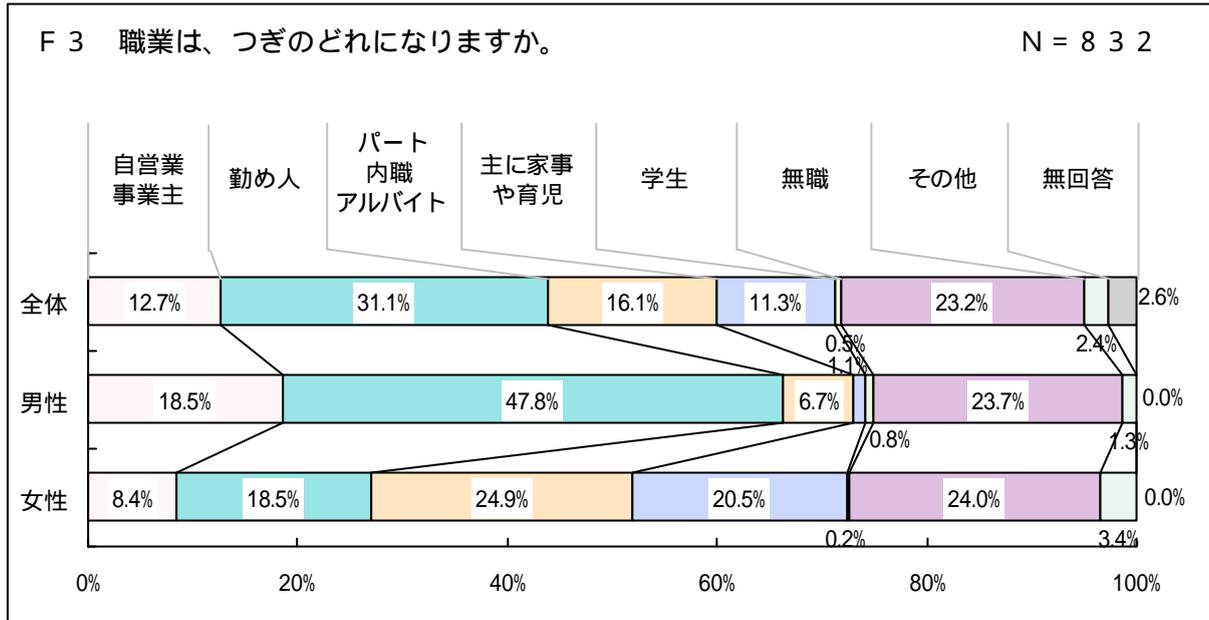
性別は、「女性」が52.6%、「男性」が44.7%となっています。

#### 年齢



年齢は、「60歳代」が25.5%で最も多く、次いで「50歳代」が18.1%、「70歳代」の17.8%となっています。

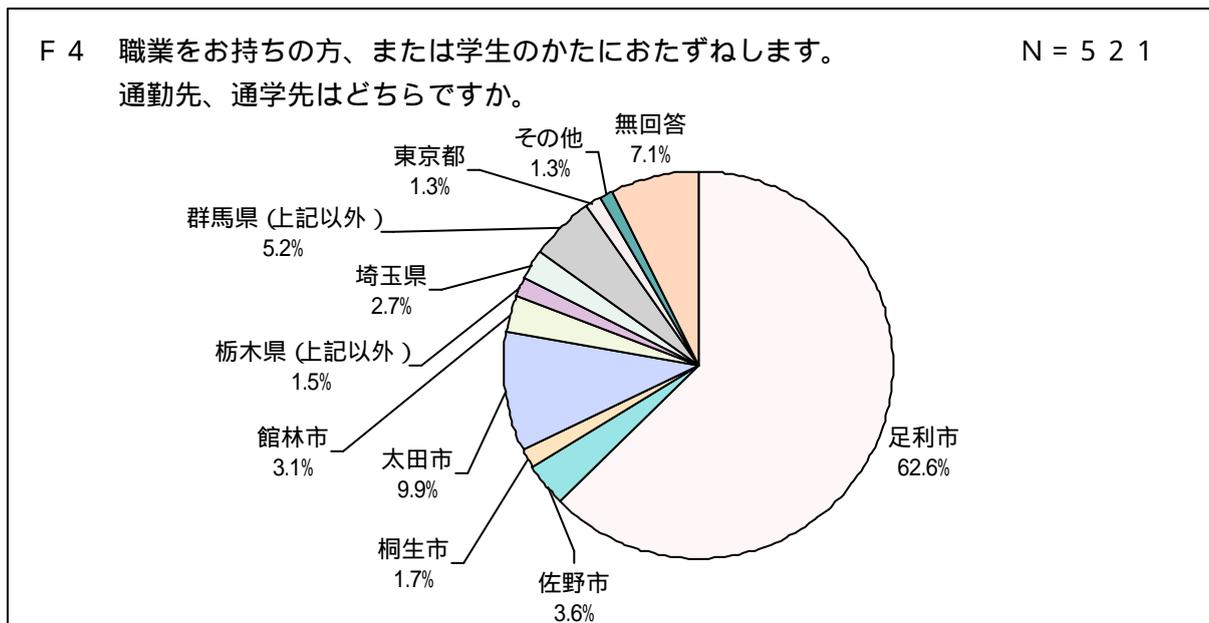
## 職 業



職業は、「勤め人」が31.1%、「パート・内職・アルバイト」が16.1%、「自営業・事業主」が12.7%で合せて59.9%が『働いている方』となります。

『働いている方』の割合は、男性で73.0%、女性で51.8%となっています。

## 通勤・通学先



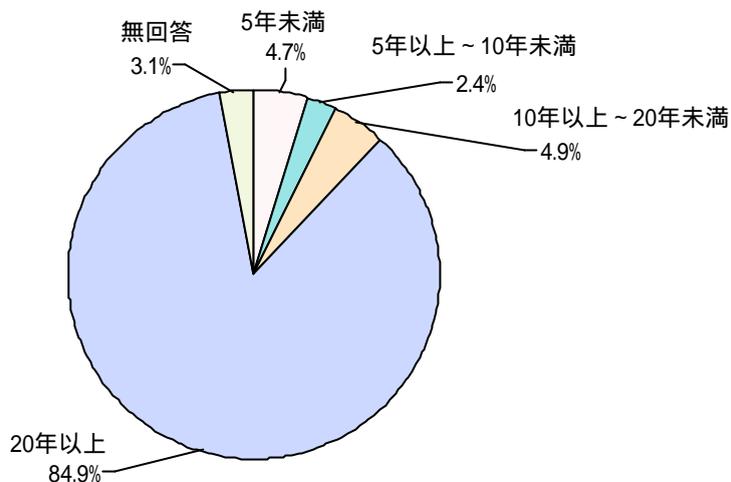
通勤・通学先は、「足利市内」の62.6%が最も多く、次いで「太田市」の9.9%、「佐野市」の3.6%となっており、「両毛都市圏以外の群馬県」が5.2%となっています。

(なお、回答者の内「学生」は4人であり、全体の傾向に対する影響は少ない。)

## 居住年数

F 5 足利市にお住まいになって、どれくらいになりますか。

N = 832

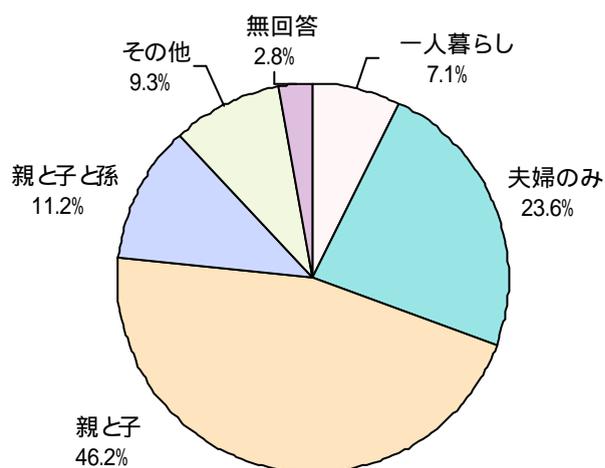


居住年数は、「20年以上」が84.9%と大多数を占め、次いで「10年以上～20年未満」4.9%、「5年未満」4.7%の順となっています。

## 家族構成

F 6 一緒にお住まいの家族構成は、つぎのどれになりますか。

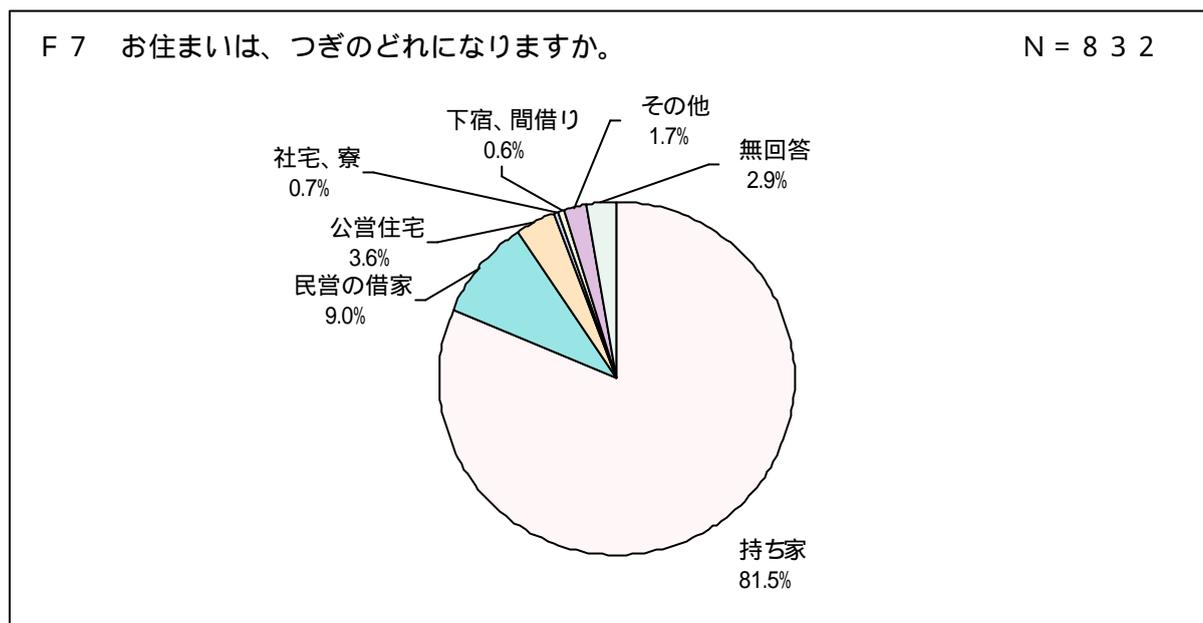
N = 832



家族構成は、「親と子」が46.2%、「夫婦のみ」が23.6%、「親と子と孫」が11.2%となっています。

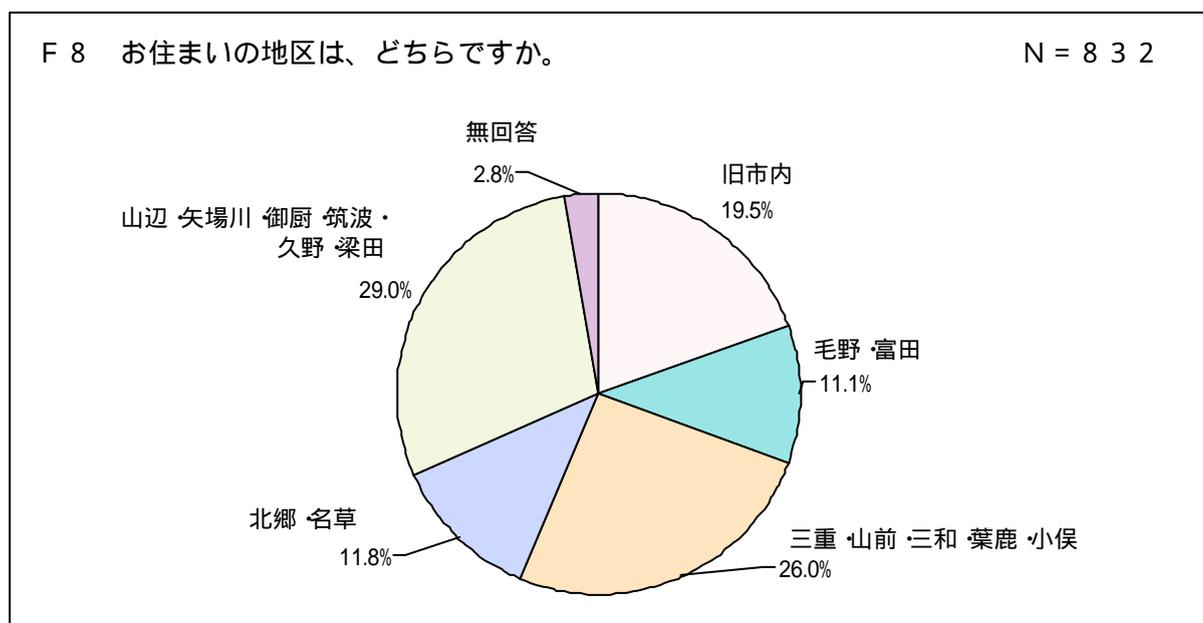
「親と子」、「夫婦のみ」に「一人暮らし」を加えた『核家族』の割合は、76.9%となっています。

## 住 宅



自宅は、「持ち家」が81.5%で圧倒的に多く、「民営の借家」「公営住宅」「社宅、寮」「下宿、間借り」の合計が13.9%となっています。

## 居住地区

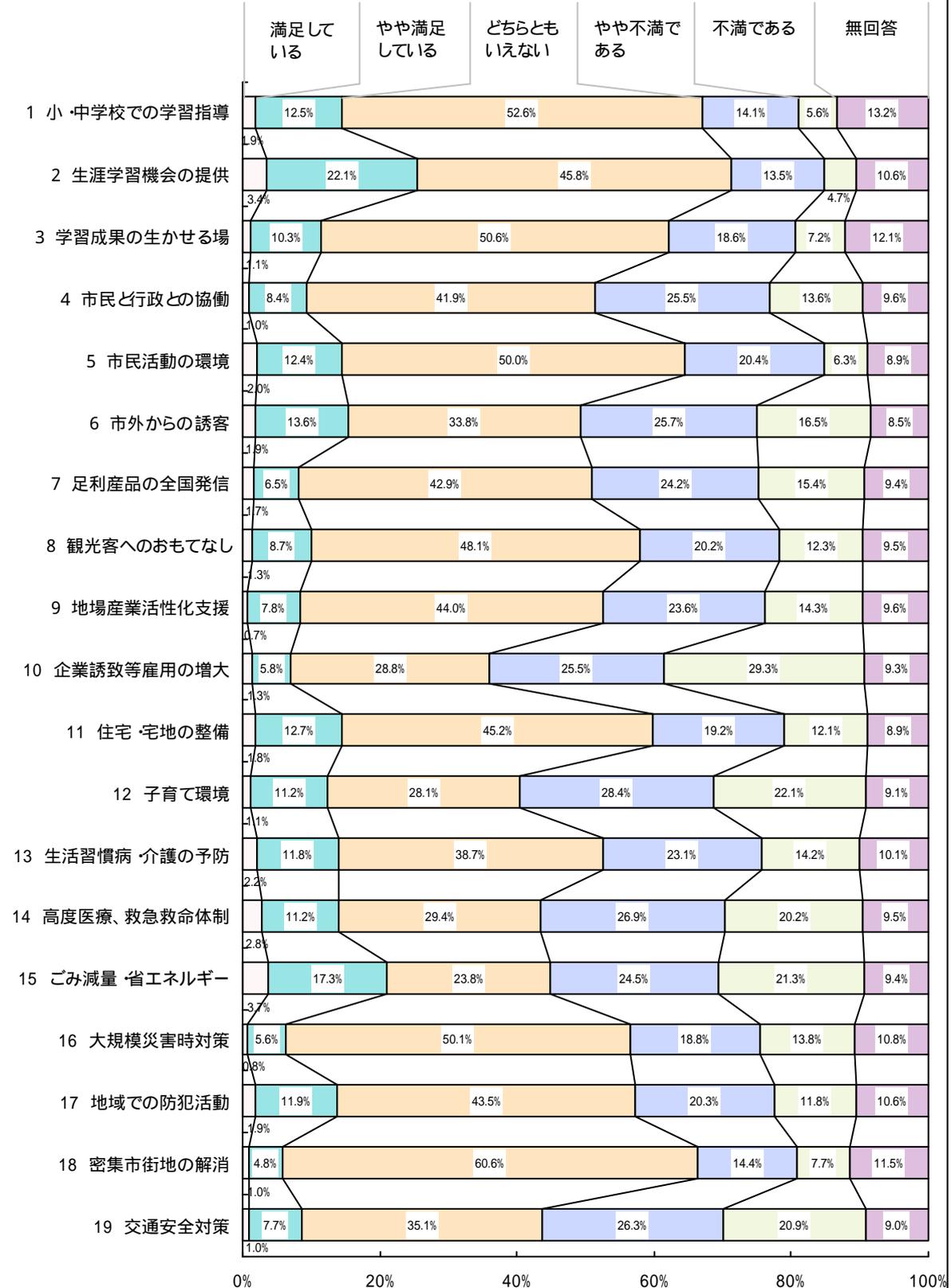


市内を4つのブロックに分けた居住地区は、南部の「山辺・矢場川・御厨・筑波・久野・梁田」29.0%、西部の「三重・山前・三和・葉鹿・小俣」26.0%、「旧市内」19.5%、北部の「北郷・名草」11.8%、東部の「毛野・富田」11.1%となっています。

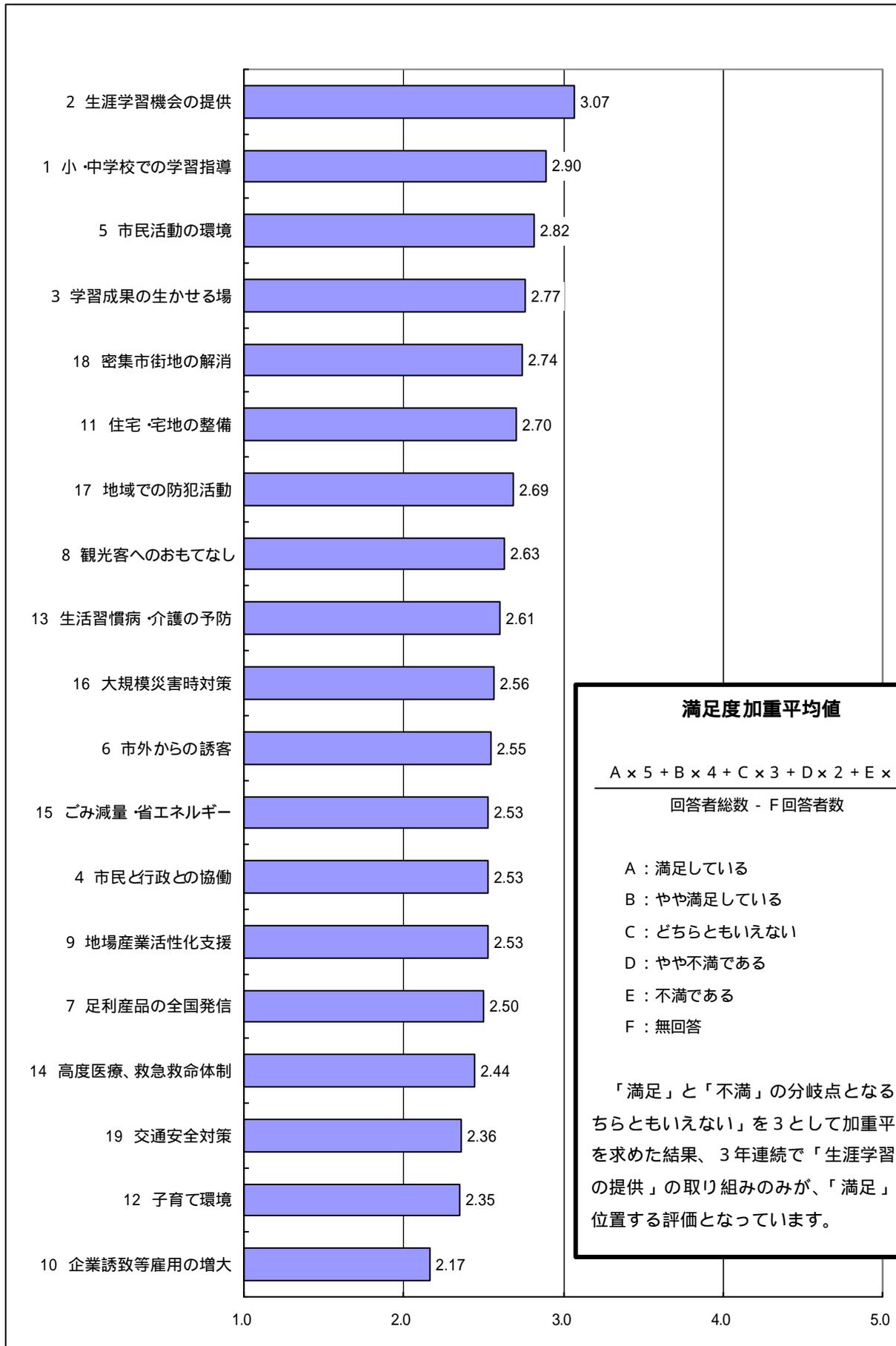
## (2) 足利市総合計画での取り組み

### 満足度

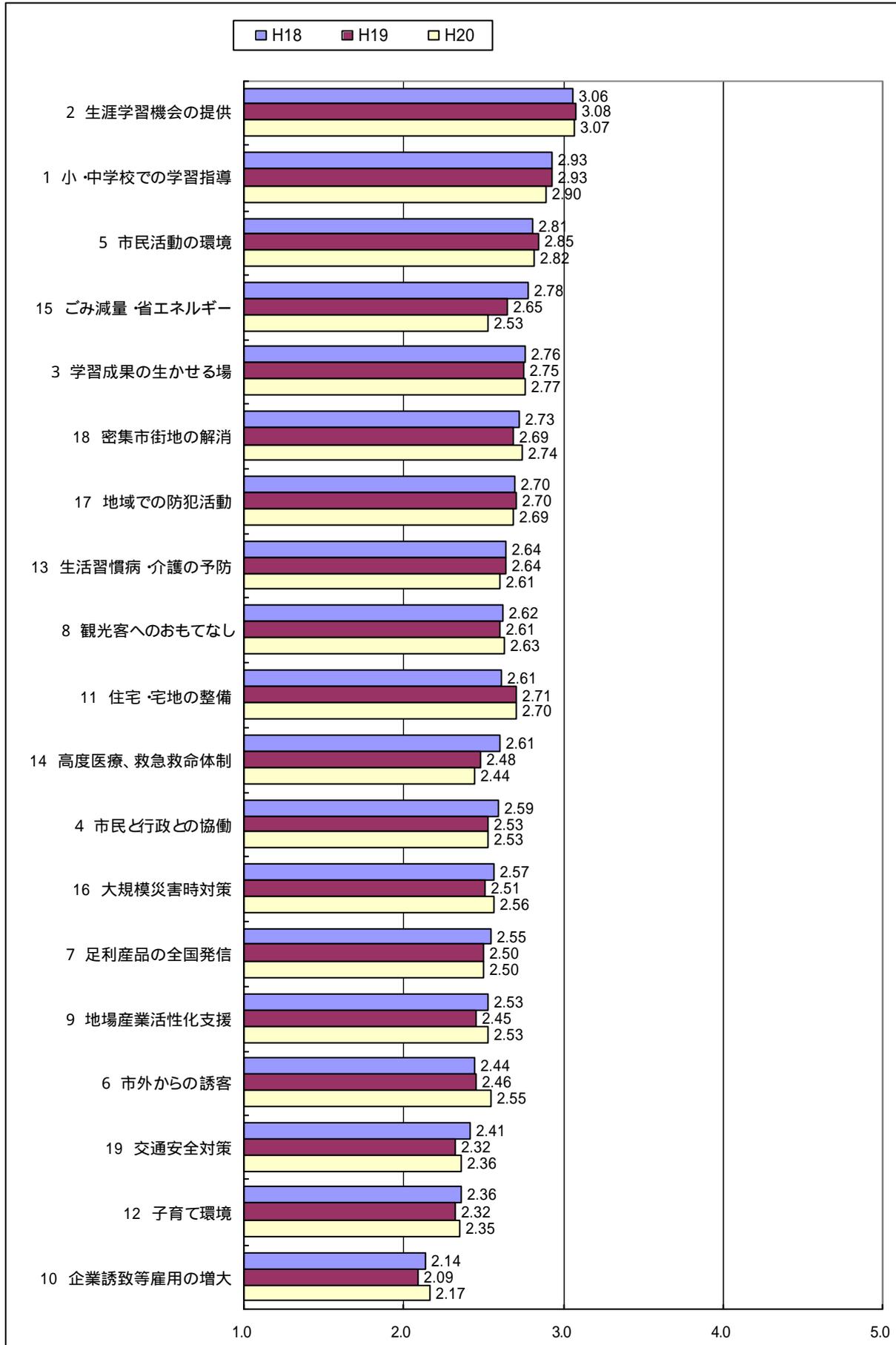
問1 本市が進めている取り組みに満足していますか。  
それぞれの項目について、あなたのお考えに近い番号をお選びください。



## 2 満足度（加重平均値）

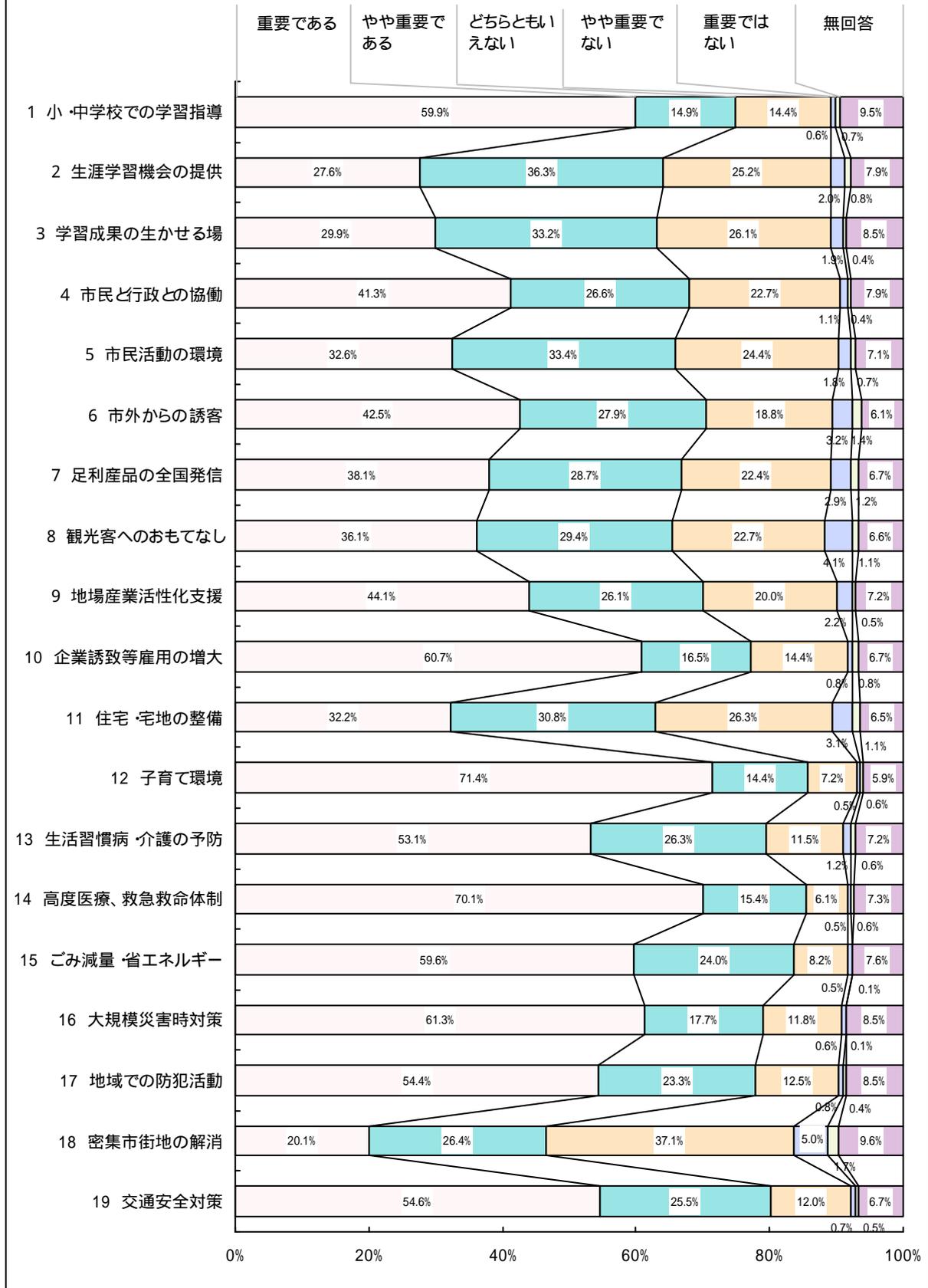


### 3 満足度（加重平均値）経年変化

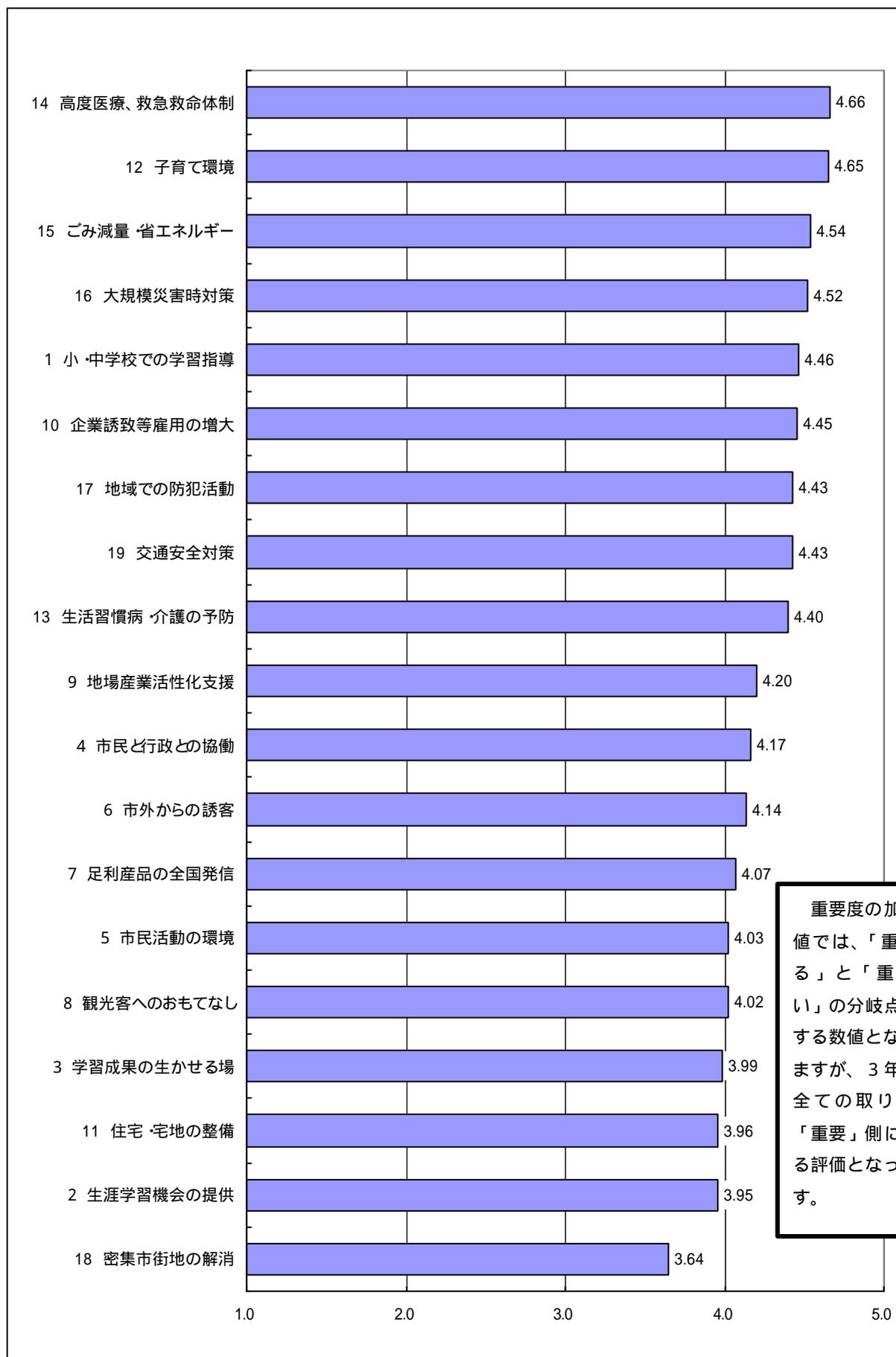


## 重要度

問1 - 2 本市が進めている取り組みの重要性についてどうお考えですか。  
それぞれの項目について、あなたのお考えに近い番号をお選びください。

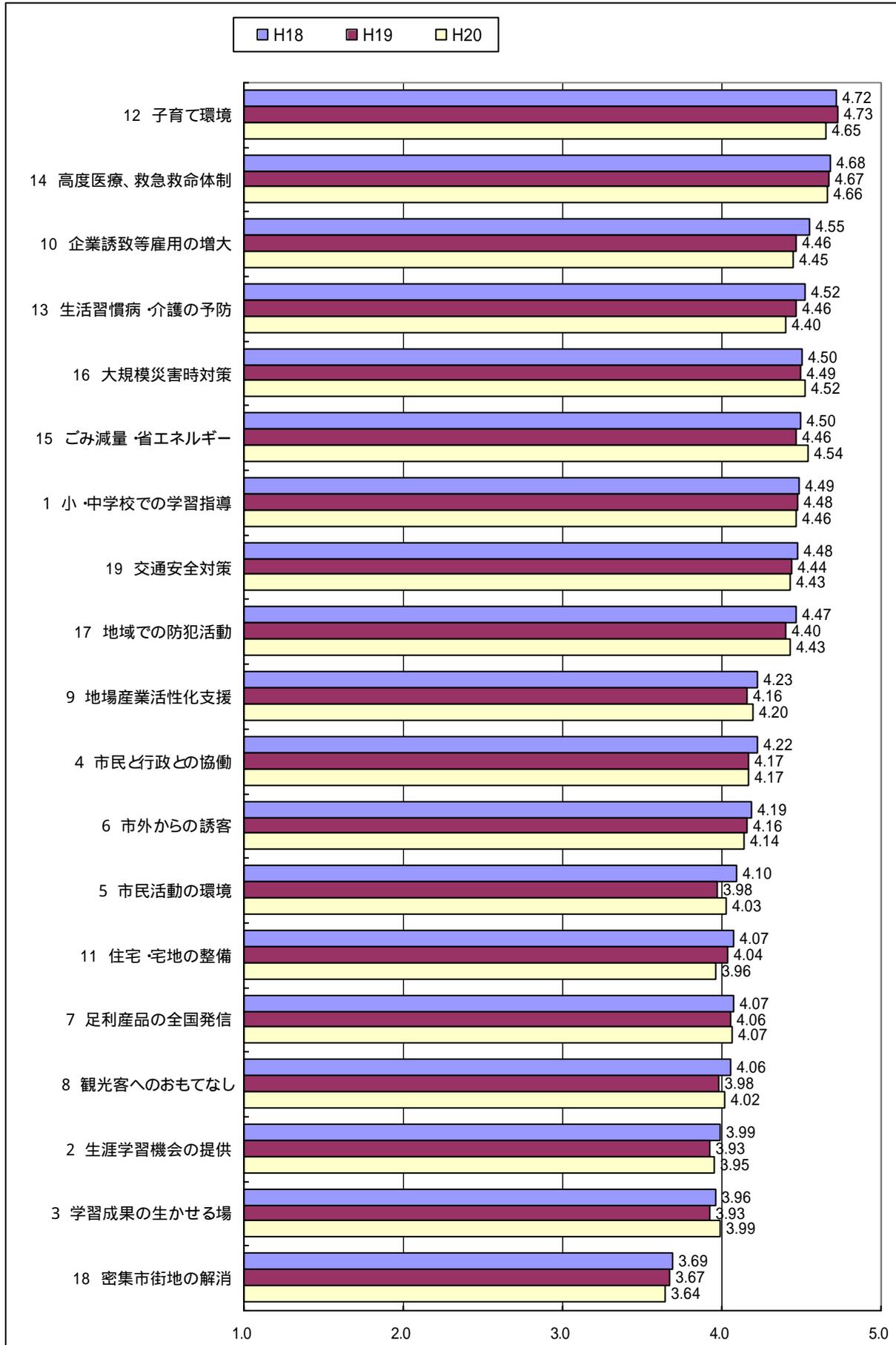


## 2 重要度（加重平均値）



重要度の加重平均値では、「重要である」と「重要でない」の分岐点を3とする数値となっておりますが、3年連続で全ての取り組みが「重要」側に位置する評価となっております。

### 3 重要度（加重平均値）経年変化



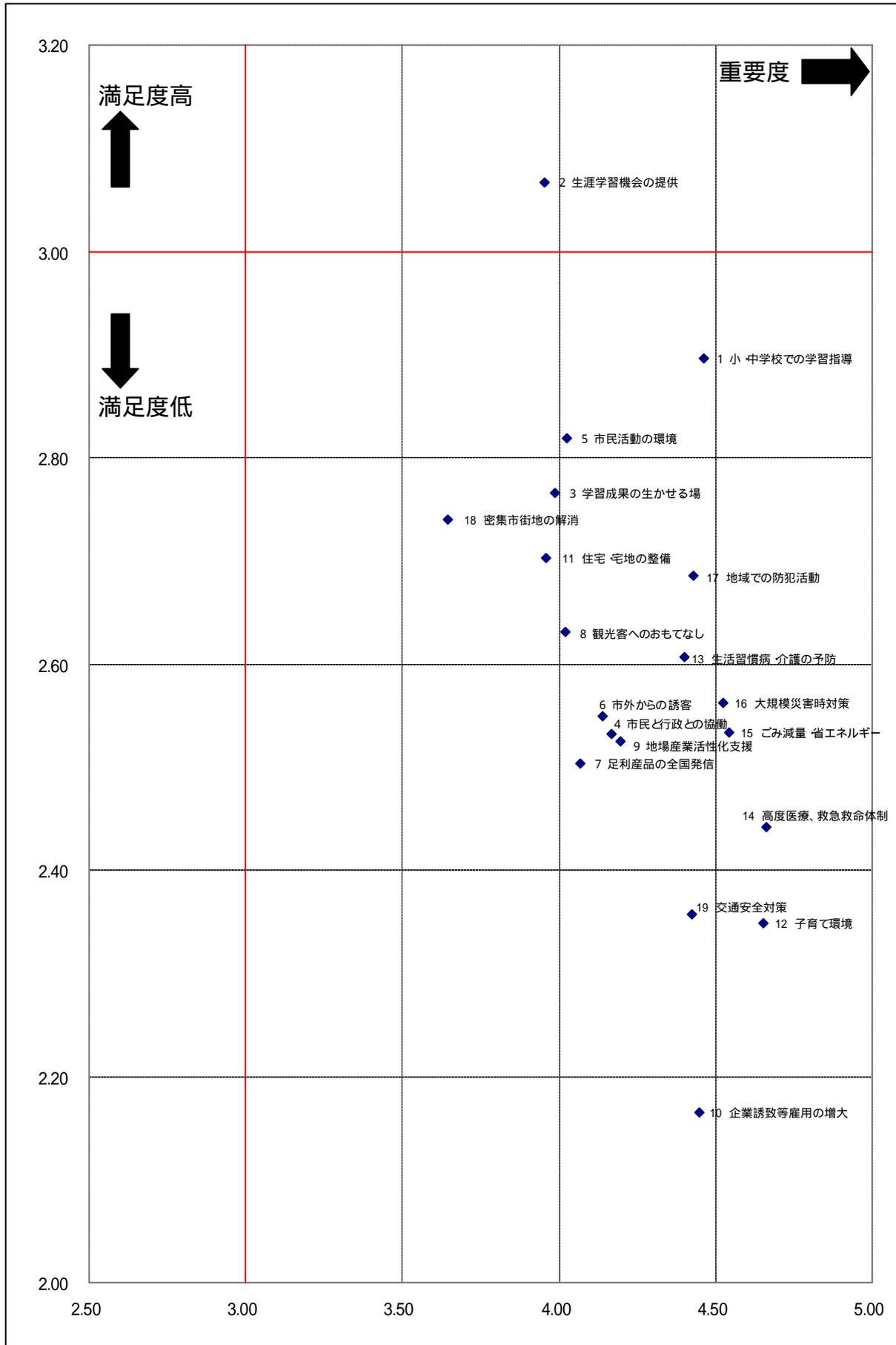
満足度上位5位

属性		1位	2位	3位	4位	5位
性別	男	2 生涯学習機 会の提供 3.02	1 小・中学校 での学習指導 2.91	3 学習成果の 生かせる場 2.75	5 市民活動の 環境 2.74	17 地域での防 犯活動 2.73
	女	2 生涯学習機 会の提供 3.13	1 小・中学校 での学習指導 2.92	5 市民活動の 環境 2.91	3 学習成果の 生かせる場 2.79	11 住宅・宅地 18 密集市街地 2.78
年齢	20歳代	1 小・中学校 での学習指導 3.12	2 生涯学習機 会の提供 3.03	5 市民活動の 環境 2.84	11 住宅・宅地 の整備 2.79	18 密集市街地 の解消 2.75
	30歳代	2 生涯学習機 会の提供 2.95	5 市民活動の 環境 2.86	1 小・中学校での学習指導 18 密集市街地の解消 2.79		13 生活習慣病・ 介護の予防 2.69
	40歳代	2 生涯学習機 会の提供 3.04	1 小・中学校 での学習指導 2.86	18 密集市街地 の解消 2.82	5 市民活動の 環境 2.75	8 観光客への おもてなし 2.71
	50歳代	2 生涯学習機 会の提供 3.04	1 小・中学校 での学習指導 2.91	5 市民活動の 環境 2.85	3 学習成果の生かせる場 17 地域での防犯活動 2.77	
	60歳代	2 生涯学習機 会の提供 3.14	1 小・中学校での学習指導 3 学習成果の生かせる場 2.81		5 市民活動の 環境 2.76	11 住宅・宅地 の整備 2.73
	70歳以上	2 生涯学習機 会の提供 3.22	1 小・中学校 での学習指導 3.14	15 ごみ減量・ 省エネルギー 3.11	5 市民活動の 環境 2.99	3 学習成果の 生かせる場 2.98
居住地区	旧市内	2 生涯学習機 会の提供 3.25	1 小・中学校 での学習指導 3.01	11 住宅・宅地 の整備 2.95	5 市民活動の 環境 2.92	3 学習成果の 生かせる場 2.87
	毛野・富田	2 生涯学習機 会の提供 3.11	1 小・中学校 での学習指導 2.90	5 市民活動の環境 11 住宅・宅地の整備 2.82		18 密集市街地 の解消 2.76
	三重・山 前・三和・ 葉鹿・小俣	2 生涯学習機 会の提供 2.99	1 小・中学校 での学習指導 2.86	5 市民活動の 環境 2.77	18 密集市街地 の解消 2.76	11 住宅・宅地 の整備 2.70
	北郷・名草	2 生涯学習機 会の提供 3.08	1 小・中学校 での学習指導 3.06	5 市民活動の 環境 2.91	3 学習成果の 生かせる場 2.80	17 地域での防 犯活動 2.78
	山辺・矢場川・ 御厨・筑波・久 野・梁田	2 生涯学習機 会の提供 3.03	1 小・中学校 での学習指導 2.83	5 市民活動の 環境 2.81	3 学習成果の 生かせる場 2.77	18 密集市街地 の解消 2.69

## 重要度上位5位

属性		1位	2位	3位	4位	5位
性別	男	14 高度医療、 救急救命体制 4.65	12 子育て環境 4.59	10 企業誘致等雇用の増大 15 ごみ減量・省エネルギー 4.48		1 小・中学校 での学習指導 4.44
	女	12 子育て環境 4.71	14 高度医療、 救急救命体制 4.68	16 大規模災害 時対策 4.61	15 ごみ減量・ 省エネルギー 4.58	1 小・中学校 での学習指導 4.48
年齢	20歳代	12 子育て環境 4.68	14 高度医療、 救急救命体制 4.62	15 ごみ減量・ 省エネルギー 4.50	16 大規模災害 時対策 4.45	13 生活習慣病 介護の予防 4.39
	30歳代	12 子育て環境 4.79	14 高度医療、 救急救命体制 7.66	15 ごみ減量・ 省エネルギー 4.59	16 大規模災害 時対策 4.56	17 地域での防 犯活動 4.50
	40歳代	14 高度医療、 救急救命体制 4.66	12 子育て環境 4.62	16 大規模災害 時対策 4.56	15 ごみ減量・ 省エネルギー 4.52	1 小・中学校 での学習指導 4.49
	50歳代	14 高度医療、 救急救命体制 4.79	12 子育て環境 4.68	10 企業誘致等 雇用の増大 4.56	15 ごみ減量・ 省エネルギー 4.55	16 大規模災害 時対策 4.52
	60歳代	12 子育て環境 4.69	14 高度医療、 救急救命体制 4.67	10 企業誘致等 雇用の増大 4.61	15 ごみ減量・ 省エネルギー 4.56	1 小・中学校で の学習指導 4.53
	70歳以上	14 高度医療、 救急救命体制 4.52	1 小・中学校での学習指導 16 大規模災害時対策	4.48	19 交通安全対 策 4.47	15 ごみ減量 17 地域防犯 4.46
居住地区	旧市内	12 子育て環境 4.65	14 高度医療、救急救命体制 15 ごみ減量・省エネルギー 4.50	10 企業誘致等 雇用の増大 4.41	16 大規模災害 時対策 4.40	
	毛野・富田	12 子育て環境 4.68	14 高度医療、 救急救命体制 4.58	1 小・中学校 での学習指導 4.46	16 大規模災害 時対策 4.44	15 ごみ減量・ 省エネルギー 4.42
	三重・山 前・三和・ 葉鹿・小俣	14 高度医療、 救急救命体制 4.72	12 子育て環境 4.64	15 ごみ減量・ 省エネルギー 4.62	16 大規模災害 時対策 4.61	1 小・中学校 での学習指導 4.52
	北郷・名草	14 高度医療、 救急救命体制 4.76	12 子育て環境 4.75	10 企業誘致等 雇用の増大 4.62	16 大規模災害 時対策 4.58	13 生活習慣病 19 交通安全対策 4.54
	山辺・矢場川・ 御厨・筑波・久 野・梁田	14 高度医療、 救急救命体制 4.71	12 子育て環境 4.61	1 小・中学校での学習指導 15 ごみ減量・省エネルギー 16 大規模災害時対策		4.53

## 満足度と重要度の関連



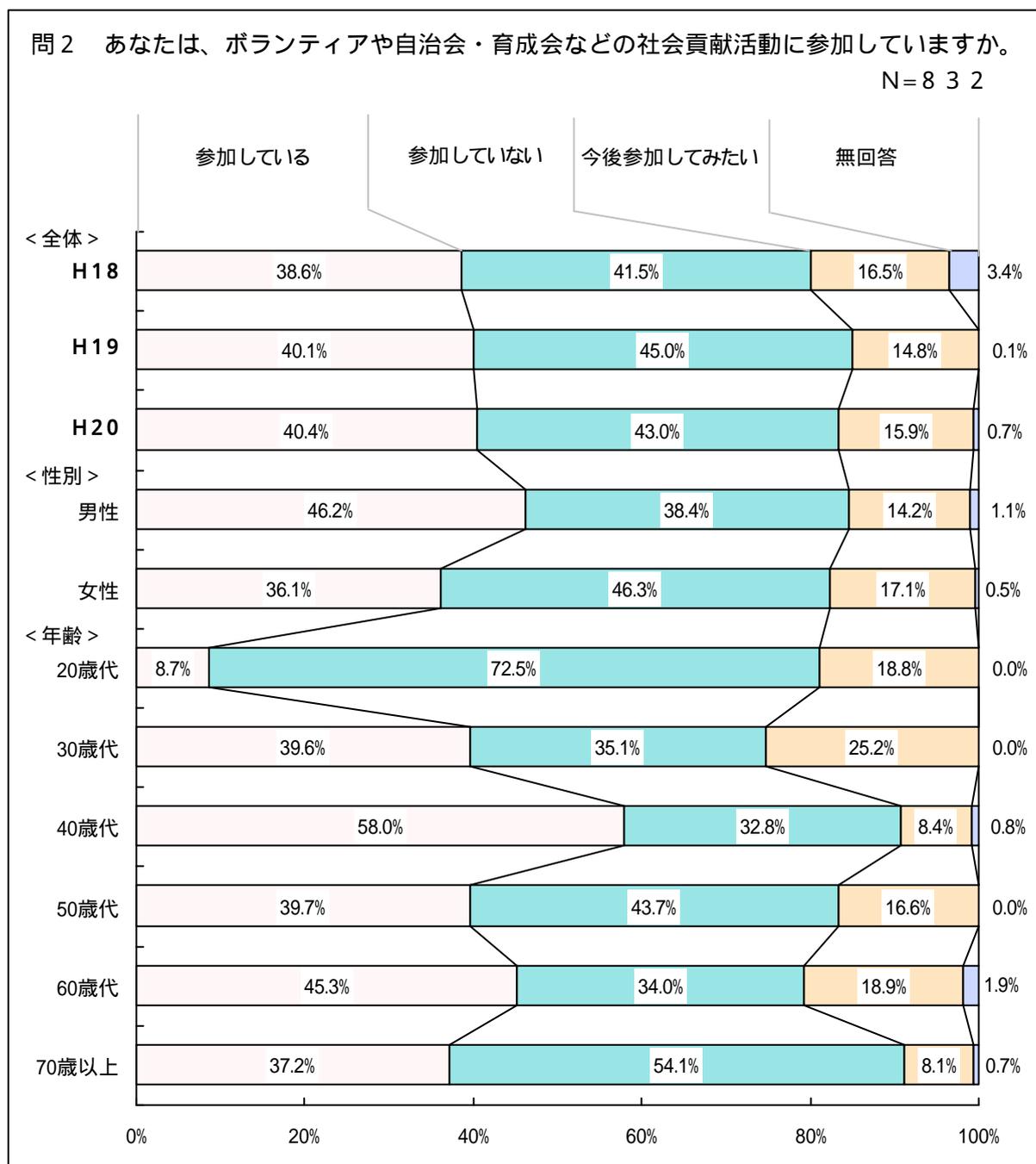
## 2 本市の取り組みに対する自由記載意見等

<b>1 小・中学校での学習指導活動の充実</b>		
指導者の能力不足		4件
道徳面に力を入れて欲しい。		4件
基礎学力の向上		3件
<b>2 生涯学習の様々な学習機会・場の提供</b>		
PR や出席し易い環境作りが必要		6件
学習内容の充実が必要		4件
各所が十分に活用されていない。		2件
<b>3 学んだことが様々な活動に生かせる場づくり</b>		
PR 不足。出席しやすい環境作りが不足。		5件
生かせる場が少ない。		2件
理解不足		2件
<b>4 市民と行政との協働の取り組み</b>		
行政主導の傾向。連携が感じられない。		6件
市政の伝達方法の検討。PR 不足。		6件
両者が互いに謙虚誠実に行動する事が大切		2件
<b>5 ボランティアなどの市民活動がしやすい環境づくり</b>		
ボランティア団体のPR不足		6件
貴重なボランティアの場が必要		5件
人にやさしい市政を		2件
<b>6 市外から多くの来訪者に来ていただくための取り組み</b>		
若年層や家族が楽しめる場所が欲しい。		6件
各公共施設のトイレの整備		3件
どの施設も駐車場が狭い。		2件
<b>7 足利産品の全国発信の取り組み</b>		
足利産品のPR不足		7件
足利産品がない・知らない。		5件
足利の名産を作り、アピールして欲しい。		2件
<b>8 観光客へのおもてなしの向上の取り組み</b>		
意識と形の両面の改善・向上が必要		5件
道路、駐車場、トイレ、休憩所の整備が必要		5件
もっとPR活動が必要		2件
<b>9 地場産業活性化の支援</b>		
積極的に取り組むべき課題だ。		5件
具体的な成果がよく見えない。		3件
助成金の増加が必要		2件
<b>10 企業誘致等による雇用の増大の取り組み</b>		
企業誘致等による雇用増大の取り組みが必要		9件
近隣と比較して出遅れている。		4件
何十年先を見た計画が必要		3件

<b>11 住宅・宅地の整備</b>	
自然も残しておきたい。	3件
人口増のために住宅用地の開発が必要	2件
足利は良く出来ている。	2件
<b>12 安心して子どもを生み育てる環境づくり</b>	
子どもを遊ばせる公園・施設がない。	9件
社会全体での子育て支援が必要	9件
医療費助成の充実	5件
<b>13 生活習慣病・介護の予防対策</b>	
予防対策がさらに必要	5件
予防対策のPRが必要	3件
個人で対策をとるべき。	2件
<b>14 高度医療、救急救命体制の整備・充実</b>	
救急の受け入れ先の病院が少ない。	6件
足利赤十字病院の早期移転の実現が必要	4件
安心して入院できる病院が必要	3件
<b>15 ごみ減量や省エネルギーへの取り組み</b>	
指定ごみ袋の値段が高い。	13件
指定ごみ袋は廃止すべき。	3件
分別・リサイクルの徹底	2件
<b>16 大規模災害時への対策</b>	
市民にもっとPRが必要	8件
きめ細かい対策が必要	5件
足利には大規模な災害がない。	3件
<b>17 地域における防犯活動の推進</b>	
足利市内は夜の暗がりが多すぎる。	6件
パトロールの強化が必要	4件
地域一体で連携体制を構築	3件
<b>18 密集市街地の解消への取り組み</b>	
まちづくりの見直しが必要	2件
土地区画整理事業に年月がかかりすぎる。	2件
予算の使い方を考えるべき。	2件
<b>19 高齢者や障害者など誰もが安心して移動できる交通安全対策</b>	
バリアフリーの推進	5件
市民の交通マナーが悪すぎる。	4件
市内生活路線バスの充実	2件

### (3) 市民の生活実践

#### ボランティア活動等への参加



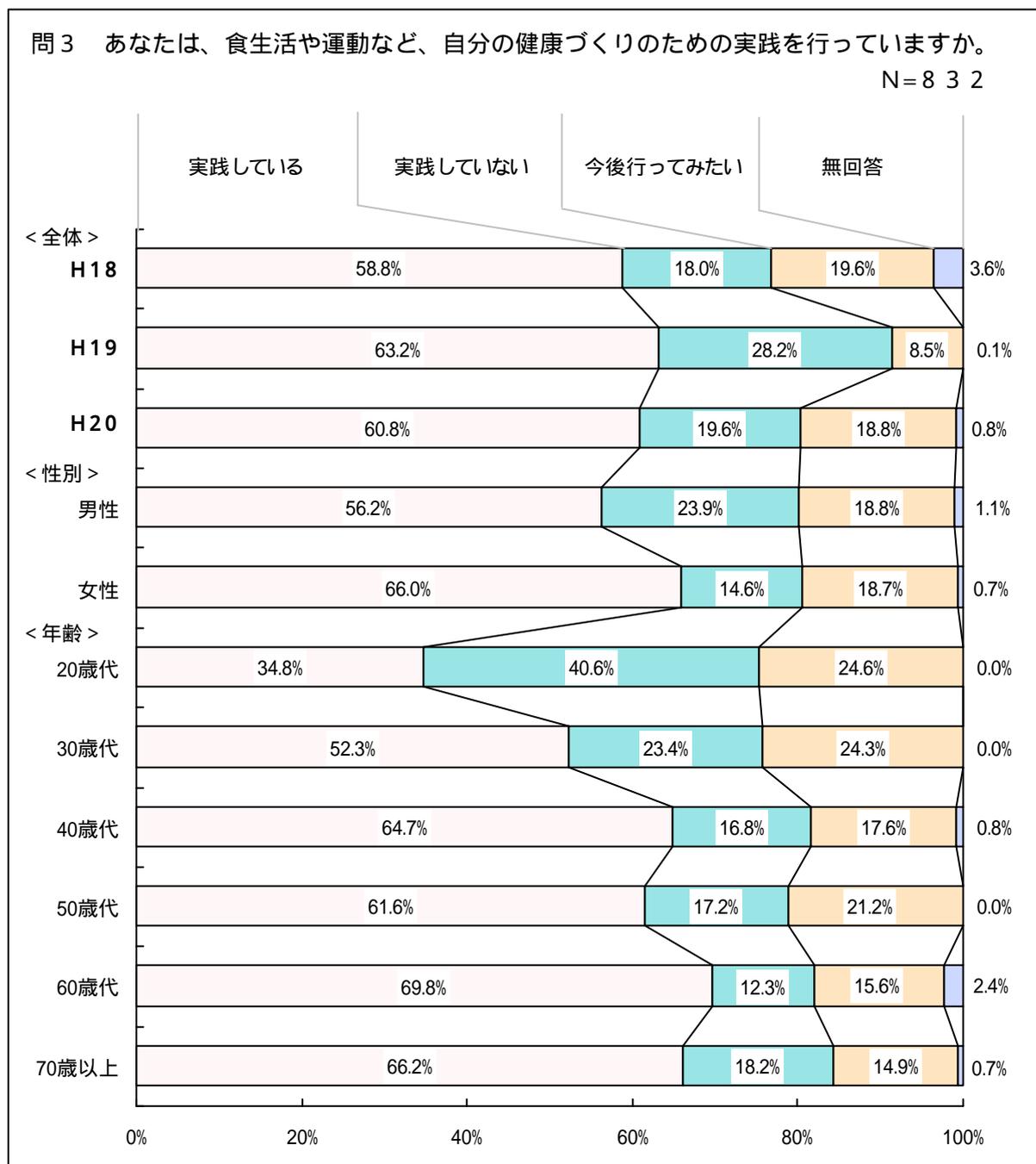
ボランティア活動等に「参加している」は、40.4%

ボランティアや自治会・育成会などの社会貢献活動に「参加している」方の割合は、2年連続で増加し、前年度との比較では、0.3ポイント増の40.4%となっています。

性別では、男性の方が「参加している」割合が高く46.2%、年代別では、40歳代が最も高く58.0%となっています。

20歳代では、「参加している」割合が最も低い8.7%となっており、「今後参加してみたい」方の割合では、30歳代の25.2%が最も高くなっています。

## 健康づくりのための実践



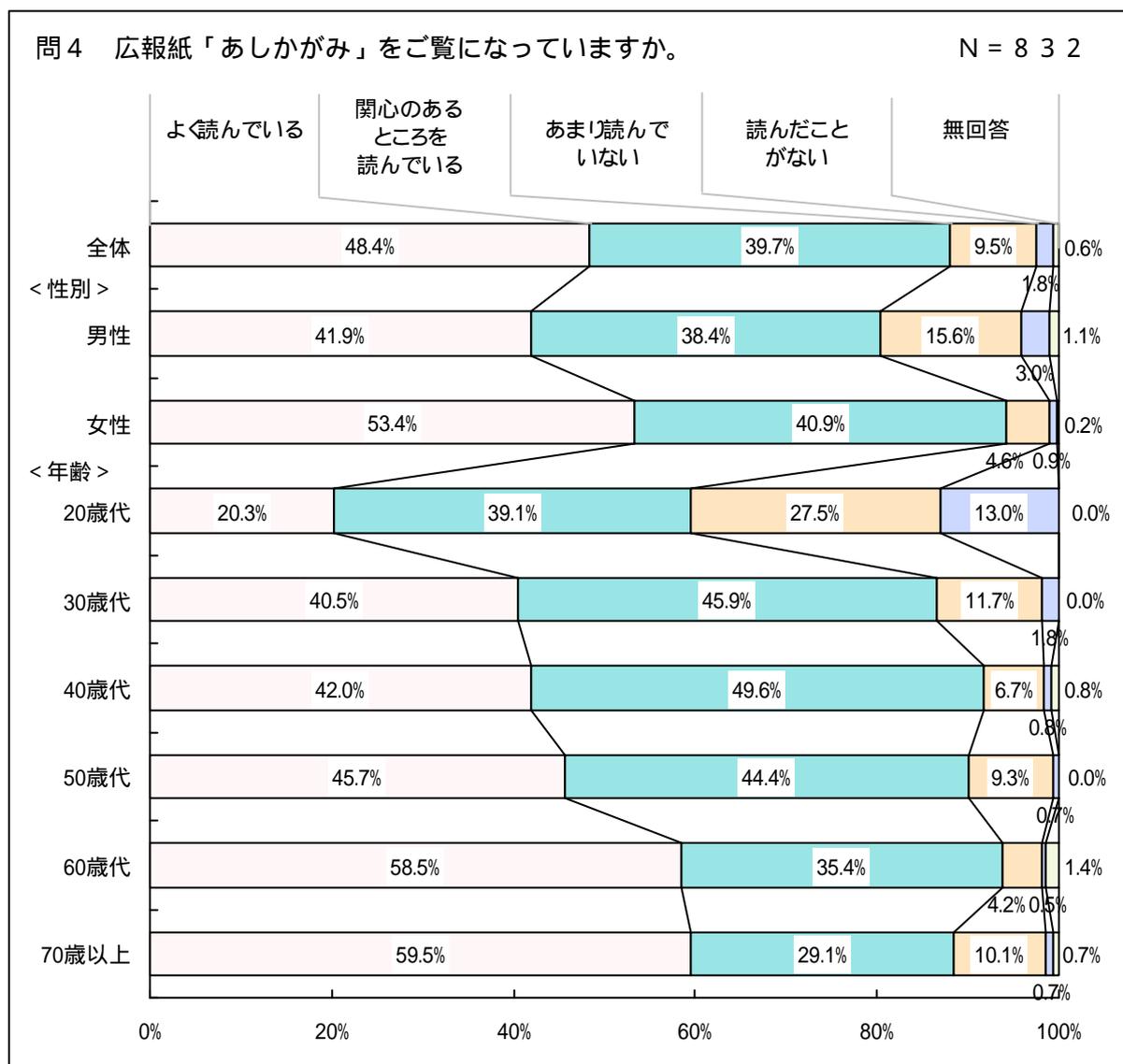
健康づくりを「実践している」は、60.8%

健康づくりのために食生活や運動などで「実践している」方の割合は、60.8%で前年と比較すると2.4ポイント減少していますが、H18との比較では2ポイント高い結果となっており、「実践していない」方の割合は、19.6%、「今後行ってみたい」方の割合は、18.8%となっています。

性別では、女性の方が「実践している」割合が高く、年代別では、40歳代以上の方が60%以上の高い実践率となっており、60歳代が69.8%と最も高くなっています。

#### (4) 情報について

##### 「あしかがみ」の閲読



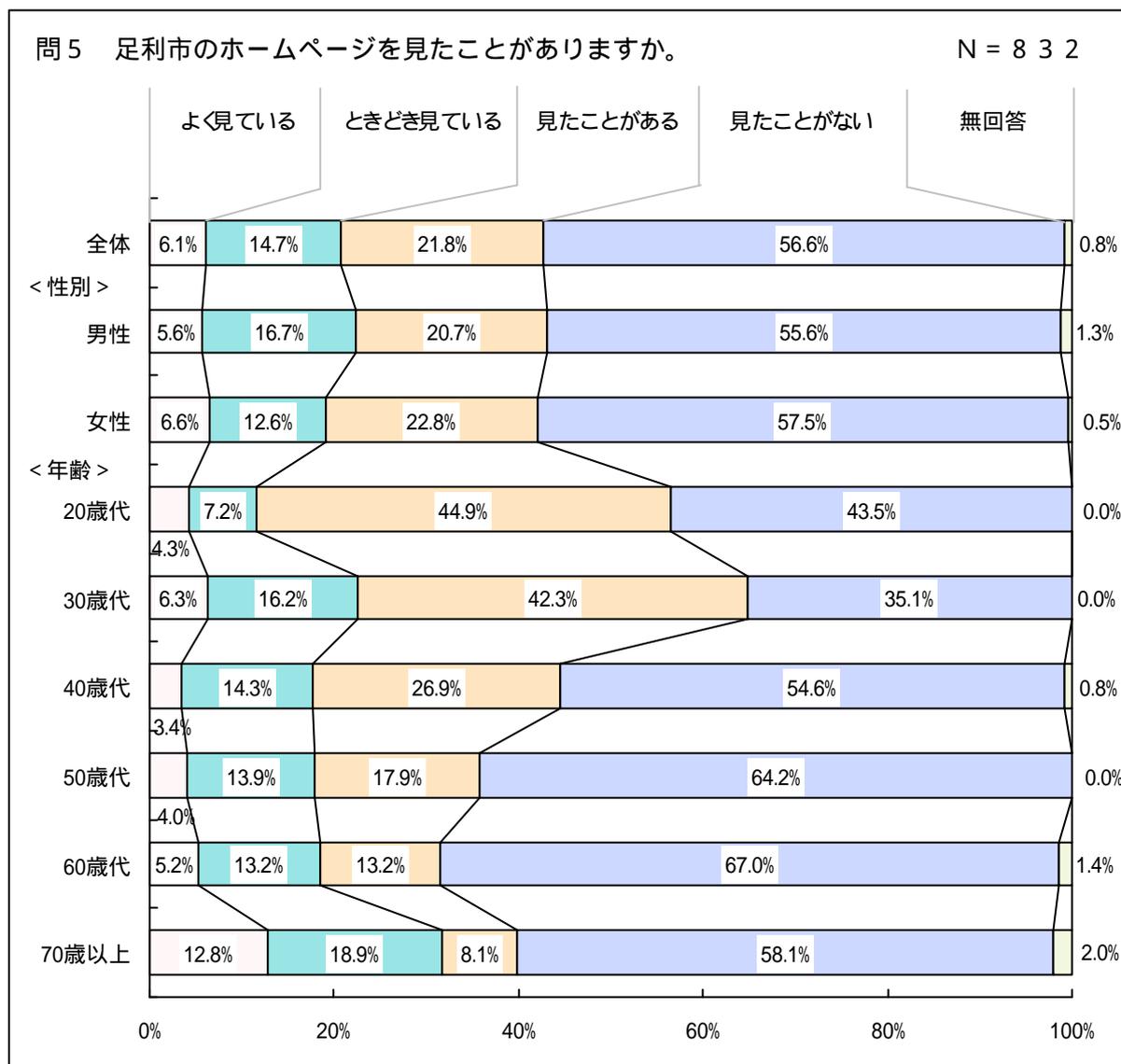
広報紙「あしかがみ」の閲読率は、88.1%

広報紙「あしかがみ」を「よく読んでいる」が48.4%、「関心のあるところを読んでいる」は39.7%で、これを合計すると『読んでいる』方の割合は88.1%となります。

性別では、女性の方が『読んでいる』方の割合が高く94.3%となっています。

年代別では、「よく読んでいる」方の割合が、年代があがるに従ってより高くなる傾向にあり、70歳代の59.5%が最も高くなっています。

## 足利市ホームページの閲覧



足利市のホームページの閲覧率は、42.6%

足利市のホームページを「よく見ている」方の割合は6.1%、「ときどき見ている」方は14.7%、「見たことがある」方は21.8%であり、これらをあわせるとホームページの閲覧率は42.6%となり、昨年と比較すると1.4ポイント上昇しています。

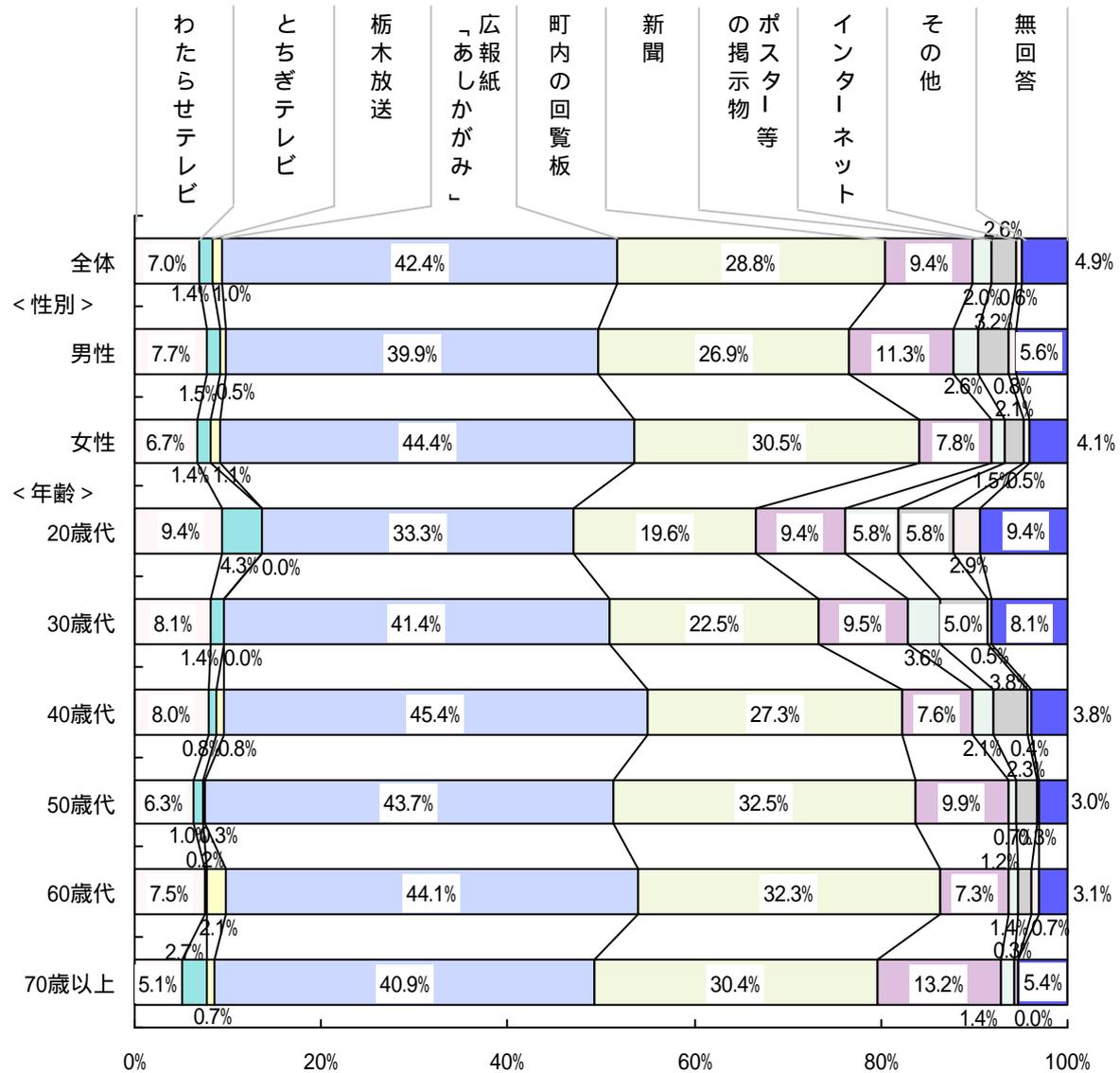
性別では、男性の方が閲覧率が高く、年代別では30歳代の閲覧者の割合が64.8%と最も高く、60歳代の31.6%が最も低くなっています。

一方、「よく見ている」方の割合では、70歳以上の方が12.8%で一番高くなっています。

## 市政情報の入手手段

問6 どのような方法で市政に関する情報を得ていますか。次の中から2つ以内でお選びください。

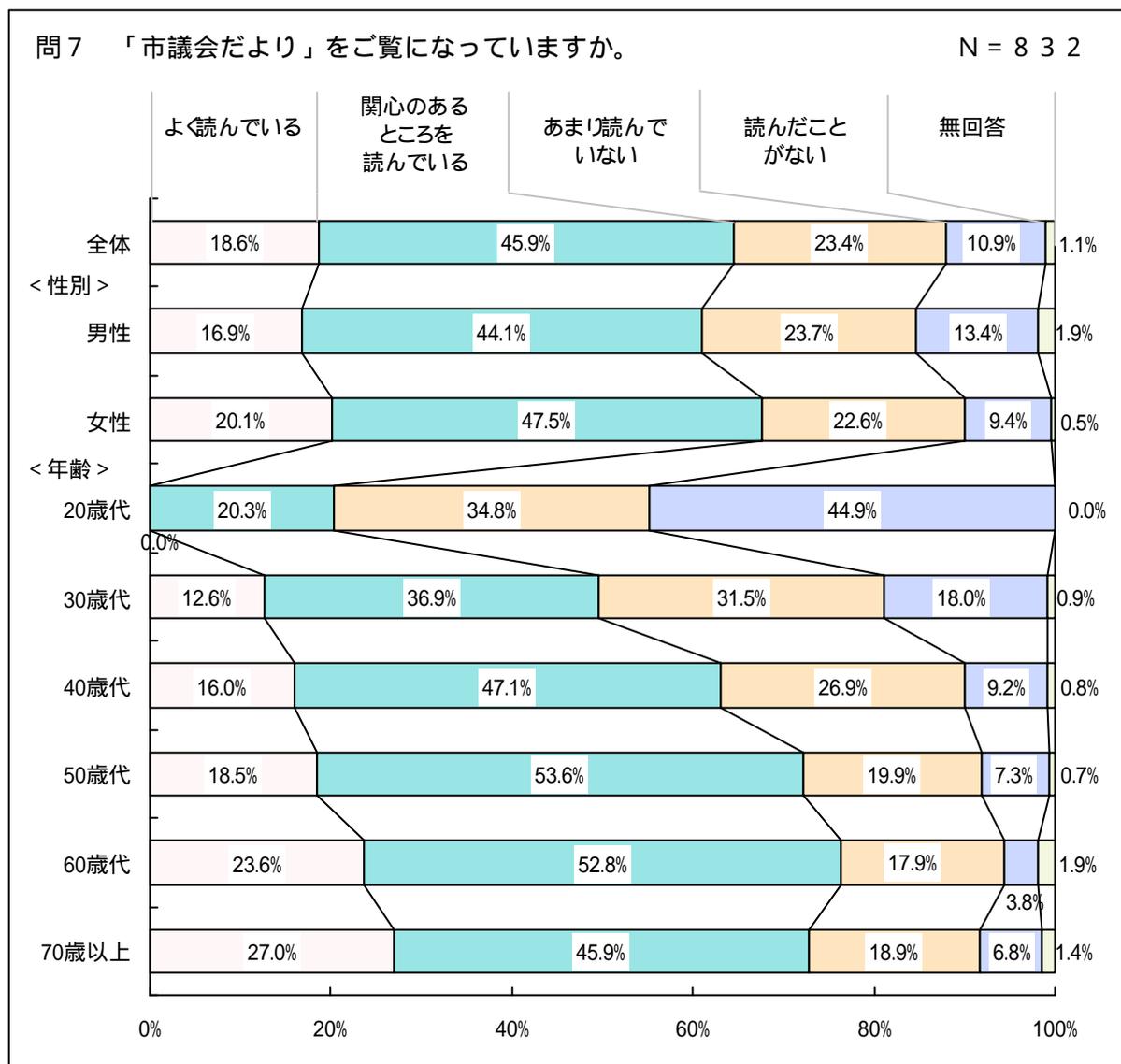
N = 1664



市政情報の入手手段は「あしかがみ」42.4%

市政に関する情報の入手手段では、割合の高い順に「広報紙あしかがみ」42.4%、「町内の回覧板」28.8%、「新聞」9.4%、「わたらせテレビ」7.0%、「インターネット」2.6%となっており、3年間とも同様の順となっています。

## 「市議会だより」の閲読



「市議会だより」の閲読率は、64.5%

今回、初めて調査した「市議会だより」の閲読については、「よく読んでいる」方の割合は、18.6%、「関心のあるところを読んでいる」方は45.9%であり、これをあわせた閲読率は、64.5%となっています。

性別では、女性の方が閲読率が高く67.6%となっています。

年代別では、「広報紙あしかがみ」と同様の傾向を示し、年代があがるに従って閲読率が高くなり、「よく読んでいる」方の割合では、70歳以上の方が27.0%で最も高く、閲読率では、60歳代の76.4%が最も高くなっています。